

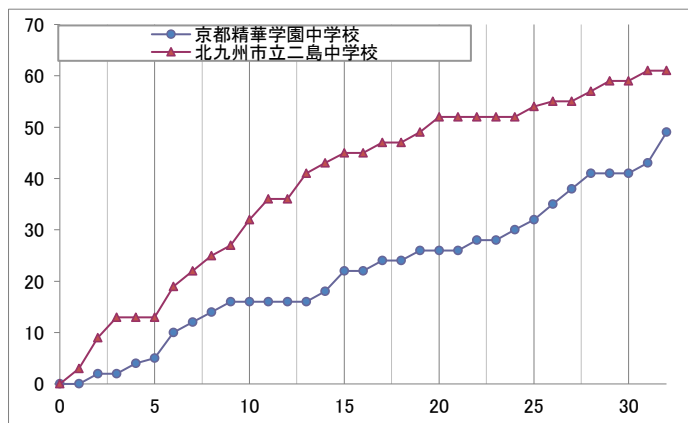


2017 ALL JAPAN JUNIOR HIGH SCHOOL SPORTS FESTIVAL

第47回全国中学校バスケットボール大会

大会名	平成29年度 全国中学校体育大会 第47回 全国中学校バスケットボール大会																	
会場	那覇市民体育館																	
日時	2017年8月25日(金)		9:30															
コート	NCコート 第1試合																	
カテゴリー	女子 準決勝																	
主審	星野 由貴		(本部)															
第1副審	石嶺 良方		(本部)															
第2副審	野々村 日希		(岐阜)															
TEAM A	TEAM B																	
京都精華 (京都府)	49 ●	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>1st</td><td>25</td></tr> <tr><td>8</td><td>2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>8</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>9</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	14	1st	25	8	2nd	20	8	3rd	7	19	4th	9	-			61 ○ 二島 (福岡県)
14	1st	25																
8	2nd	20																
8	3rd	7																
19	4th	9																
-																		

得点経過



BOXスコア

TEAM A		京都精華学園中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	荻田 美 (CAP)	×	0	0	0	0	0	
5	柴田 柚菜	×	16	0	6	4	1	
6	中江 美友	×	14	0	7	0	1	
7	渡邊 香玖耶	/	5	1	0	2	0	
8	西村 有未	/	0	0	0	0	0	
9	高瀬 真菜	/	0	0	0	0	0	
10	田島 朱乃	/	0	0	0	0	0	
11	後藤 郁乃	/	2	0	0	2	1	
12	三島 伽月	/	0	0	0	0	0	
13	岩本 未夢	/	0	0	0	0	0	
14	大谷内 結乃	/	0	0	0	0	0	
15	植村 文音	/	0	0	0	0	0	
16	呉本 明津実	×	2	0	1	0	4	
17	瀬川 心暖	/	3	0	1	1	1	
18	トラオレ セトウ	×	7	0	3	1	3	
コーチ	山本 綱義							
合計			49	1	18	10	11	

TEAM B		北九州市立二島中学校						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	早川 千華	DNF	0	0	0	0	0	
5	徳永 夏	×	6	2	0	0	3	
6	池松 美春	DNF	0	0	0	0	0	
7	中村 理瑚	×	20	4	3	2	0	
8	中嶋 そら	/	0	0	0	0	0	
9	野満 咲良	DNF	0	0	0	0	0	
10	吉村 琉季	DNF	0	0	0	0	0	
11	浦野 来望	/	0	0	0	0	0	
12	梶原 早智	/	0	0	0	0	0	
13	黒木 美緒	/	0	0	0	0	0	
14	中園 陽菜乃 (CAP)	×	15	0	5	5	2	
15	石田 千尋	DNF	0	0	0	0	0	
16	長崎 靖子	/	0	0	0	0	0	
17	齋藤 風香	×	5	0	2	1	4	
18	池下 陽菜	×	15	3	2	2	4	
コーチ	山崎 修							
合計			61	9	12	10	13	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

女子準決勝第一試合は高さの京都精華(京都)とスピードの二島(福岡)の対戦となった。試合開始早々二島3連続3Pで主導権を握る。京都精華たまたまタイムアウト。徐々に落ち着きを取り戻し、インサイドが機能し得点を重ねる。さらに二島は堅い守りから速攻を出し、なかなか点差が縮まらない。チームファウルを重ねながらも二島は必死に精華の高さを押さえる。二島14-25京都精華で1Q終了。2Q、二島の勢い止まらず京都精華を翻弄。開始1分チームの要#4負傷退場。二島は手を緩めることなく、執拗なDefから速攻、わずかな隙を縫ってのドライブ、3Pで得点を重ねる。京都精華は残り5分全員交代し、3P、インサイドで応戦するもなかなか点差は縮まらず二島45-22京都精華で前半終了。3Q京都精華スタメンに戻してのスタート。お互い固い守りから、ミスなどもあり、なかなか点数が伸びない。二島52-30京都精華、二島が22点差をつけて、3Q終了。4Qファウルが重なる二島、#4を欠いた京都精華。いよいよ最終Qに突入。開始3分なかなかシュートが決まらない二島に対して、インサイドで2連続得点の京都精華。ここで二島タイムアウト。残り4分インサイドを中心に京都精華が得点を重ね16点差に縮める。京都精華#4がコートインするが終始、二島が攻守で圧倒し、二島61-49京都精華で試合終了。高さのハンディをオールコートで走り回り、全員でボールをつなげ、果敢にルーズボールに飛び込んでいく二島のプレーは多くの中学生に参考になれたことを期待する。